第３号

リラのいえ

2009 年 7 月発行

「リラのいえ」開設から１年が経過して

ＮＰＯ法人スマイルオブキッズ代表理事　田川　尚登

利用者が待ちに待った「リラのいえ」の開設から１年が過ぎました。
日頃よりご支援をいただいている皆様には、厚く御礼申し上げますとともに、ご支援が確実に利用者に届いていることをご報告いたします。

昨年６月から手探りで始めましたボランティアでの運営体制も、一人ひとりのボランティアの努力とともに患者家族を受け入れる体制が確立し、安価で利用できる「第二のわが家」というキャッチフレーズが当てはまる宿泊滞在施設に近づいてきました。利用者が安心して滞在できるようにボランティアによる 24 時間の管理体制をとり、面会終了後も 23 時までは「おかえりなさい！」と看病で疲れた利用者を迎える言葉がけを心掛けています。

遠方の方々だけではなく、横浜市内の方の利用も病院から近いという利点から、緊急手術の付き添いにも利用されています。北は北海道、東は小笠原諸島小笠原村、南は沖縄県、果てはモンゴルや中国など、海外から来院された方々にも利用されています。

利用者同士が集うキッチンや食堂のスペースでは、お互いに話すきっかけができ、家族にとって同じ境遇の方々と話ができることが、子どもの病気の現状を受け入れる良いタイミングとなり、家族の精神的な不安の軽減につながっています。また昨年２月下旬より県の助成金を利用して、入通院している患児のきょうだい児の預かり保育事業が始まりました。患児のきょうだいは、親との関わりが患児主体の生活になるために精神的に不安定になりがちです。病院に来院しても病室に入ることができないため、ロビーなどで待っていることも多く、ストレスが溜まっています。そのような時は、「リラのいえ」のホールを利用し、遊ぶことによって、ストレスを発散させることができます。有料ですが常時保育士のケアもあり、家族の方々からは大変喜ばれています。

スマイルオブキッズの今後の活動としては、こども医療センターで活動している患者会の活動支援を引き続き支援していくことと、重症心身障害児と家族を支援する「地域がささえるふれあいコンサート」を主催（8月22日、横浜ラポールシアター）し、普段コンサートホールで聴くことができない子どもと家族に生の演奏を聴いていただく予定です。

地域の中で行政ができない小児難病医療の支援活動の一役を担っていくことが我々の使命と考えています。皆様からも子ども医療に関する諸問題のご提案などございましたら、ぜひお寄せいただきたいと思います。今後ともご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

◇◇

「リラのいえ」のこのごろ

「リラのいえ」も、おかげさまで開設から1年を迎えることができました。これも一重にご支援くださった皆様や「リラのいえ」をご利用してくださった方々、ボランティア、温かく見守り指導してくださったこども医療センターの皆様のおかげです。皆様に深く感謝申し上げます。

下記表に示したとおり、現在、「リラのいえ」の利用状況は順調に推移しております。４月に入り、稼働率は落ち着いてきておりますが、８室すべてが満室になることもありました。その際は、ご利用される皆様のご理解とご協力のもと、「よこはまファミリーハウス」へ案内するなどして、ご対応いたしております。

「リラのいえ」は24時間運営しております。ボランティアなどにご関心をお持ちの方々、ぜひ一度お立ち寄りくださいませ。

2009年2月早朝の「リラのいえ」

■リラのいえ・利用状況（2008年12月～2009年5月）

月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
家族数	27	23	24	30	18	26
利用者数	344	388	356	413	279	293
稼働率	73.4%	75.4%	82.6%	85.9%	53.3%	59.3%

利用者の声

青森県弘前市から来ました。私は 26 年間、青森を離れて暮らした事のない田舎者です。まずは、「横浜という大都会に何日も暮らす！！」と言う事にとても不安を感じていました。

でも子どもの手術のため、「健康になるため母として何ができるのか？」と考えた結果、「こども医療センターで手術をするために私がつれてきて、そばにいてあげることが一番！」と言うか、それしかできないので、横浜に来る事を決意しました。

実際来てみると「リラのいえ」の周りには緑がいっぱい。まずは、そんな印象を受けました。とても温かいスタッフの皆さん、そして、何よりも一緒に生活しているお父さん、お母さん方とたくさんお話ができたこと。本当に勇気をもらい、ただ話しているだけでリフレッシュできました。

手術をした子どもは 1 歳 3 ヶ月の男の子です。病名は「膀胱尿管逆流症」といって、生まれつきオシッコが膀胱から腎臓まで逆流することによって、感染症を起こしたり腎臓の機能が低下してしまったりする病気です。青森県では手術をしてくれる病院がなかったため、こども医療センターを紹介してもらい、ここで手術ができました。

先生は「この手術は 99% 成功するので、安心してきてください」と言ってくださいました。その言葉通り手術も順調に終わり、術後 3 日目に退院できました。次の外来受診まで一週間弱、その間も「リラのいえ」にお世話になっています。退院後も子どもは元気に走り回って遊んでいます。

子どもの元気な顔が見られたことがとても嬉しいです。何より、手術できた事、そしてここに泊まらせてもらえた事、とても感謝しています。

今まで他人に対して心から感謝するという経験をしたことのない私ですが、子どものお陰で「ボランティア」とはとても素晴らしい事なんだと初めて実感する事ができました。いつか私も人のために何かしたいと思いました。

「リラのいえ」のみなさん、こんなステキな家を作ってくれてありがとうございます。「お帰りなさい」の声がとても温かかったです。ホームシックにもならず無事に帰れそうです。本当にありがとうございました。

青森で待っている長男もとてもがんばっているそうで、帰ったらいっぱいギューします。

2009 年 5 月

チャリティーピアノコンサートを開催しました！

2009年6月13日（土）午後6時、ミューザ川崎シンフォニーホールにて5回目となるチャリティーピアノコンサート「愛する子どもたちのために　2009」を開催いたしました（主催：スマイルオブキッズ）。

当日は800名以上の方にご来場いただき、大盛況となりました。その模様を写真とともにご報告いたします。

献花

開演の挨拶

開演前にプログラムを織り込む
ボランティアの皆さん

来場者をご案内

コンサート後には
サイン会

チャリティーコンサートのボランティアに参加して

「よかったわね」「楽しかった」などの声があちこちから聞こえてきました。コンサートが終わり、ロビーに出てきた聴衆の方々の表情には、満足感あふれるものがありました。チャリティーとしてはやや人数が少なく、残念な気もしましたが、コンサートとしては成功ではないかと思いました。

あるひとつの行事を行うには、事前の計画・準備から当日の実施・終了まで実に多くの時間と労力が必要となります。今回も関孝弘先生をはじめスタッフ、たくさんのボランティアの方々の努力・協力、そして何よりもチャリティーコンサートを成功させようという熱意があったればこそ、さまざまな課題を乗り越え、このような結果が得られたのだとつくづく感じました。

コンサートの成功に少しでも寄与できた喜びもさることながら、特にヴェッキアートの美しい曲に身も心も委ねて聴くことができたことが、私のボランティア活動への何よりのご褒美だと思っています。

（西浦勝彦）

どうもありがとうございました！！

「リラのいえ」開設１周年記念行事として、チャリティーピアノコンサート「愛する子ども達のために　2009」を無事開催することができました。ご案内のお便りの準備から当日の手伝いまで多くの「リラのいえ」ボランティアさんの協力のもと、当日は800名を超える皆様にご来場をいただくことができました。

今年も多くの方々が会場にお越しくださいましたこと、ありがたく感謝申し上げます。関孝弘様の温かいお気持ちもいただきまして、毎年コンサートを開催できますこと、心より嬉しく思うとともにお礼申し上げます。

（チケット担当・岩崎幸代）

「リラのいえ」ボランティアと協賛企業の皆さん

チャリティーピアノコンサート
「愛する子ども達のために　2009」
収支報告

★収益金はすべて「リラのいえ」の運営資金に利用させていただきます。

収入	
チケット売り上げ （前売り849枚×@3,000 当日10枚×@3,500）	￥2,582,000
当日募金・物販雑収入	256,739
協賛金	300,000
収入合計	**3,138,739**

支出	
会場費	1,203,285
印刷費	246,225
交通費	46,000
通信費	90,920
その他（演奏家謝金など	223,549
支出合計	**1,809,979**

コンサートによる収益金（収入―支出）　\1,328,760

スロベニア共和国から取材を受ける

６月２日、在日スロベニア共和国大使館員、スロベニアＴＶ放送スタッフ、ＮＨＫエンタープライズの方々が「リラのいえ」に取材のために訪れました。

今回の取材は、「スロベニア共和国の絵本作家リラ・プラップさんの絵が日本でどのように親しまれているかスロベニア共和国で放送するためのものでした。

「リラのいえ」とリラ・プラップさんの絵との関係は施設の開設以前から始まっていました。平成 19 年春、施設開設の目処がたって具体的に計画が進む段階で、リラ・プラップさんのご厚意により、動物の絵を施設の各個室に飾ることができました。平成 20 年の放送以前のことでしたが、ＮＨＫエンタープライズのご尽力により、実現に至りました。また、開設式には株式会社モエ・インターナショナルの寄付による立派な額縁に入った絵を皆様に披露することができました。

それ以来、各個室に飾られたリラさんの動物の絵は病室の子どもと付添の家族を癒すこととなっています。

（松尾忠雄）

「リラのいえ」で消防訓練

５月９日、横浜市南消防署六ッ川消防出張所長の韮山消防司令に「リラのいえ」に来ていただき、施設に関わるボランティア 15 名が参加して午前 10 時より２時間、消防訓練を実施しました。

「安全で衛生的で快適な施設を提供」することは「リラのいえ」の運営理念の一つです。安全に施設を利用していただく事は施設に関わる利用者、ボランティアが常に考慮しなければならないことで、ボランティアが実際に消防訓練を体験している事は危機管理上大切なことは勿論、自分たちにとって心強い経験となります。

訓練内容は、消火剤の代わりに水の出る水消火器による初期消火訓練と火災報知機の取扱および防災についての講話でした。参加したボランティア全員が水消火器を使って鎮火訓練をし、実際に火事となった場合に私たちがとるべき行動について横浜市安全管理局発行の防火・防災ハンドブックを参考に韮山所長の話を聞きました。

今回の消防訓練は、参加したボランティアにとって施設の火災だけでなく自宅が火災になった場合にも役に立つ訓練でした。今後は施設利用者にも参加していただき、こども医療センターとも連携した訓練をして、防災・防火に役立てたいと考えます。

（松尾忠雄）

ボランティアさん紹介②　山浦襄司（やまうらじょうじ）・山浦章子（やまうらしょうこ）

一昨年の末頃に「患者家族滞在施設」建設開始との新聞報道を見て、自宅から徒歩３分とすぐ近くにあったことから、何かお手伝いをと思いボランティアは初めての経験でしたがお仲間に加えていただきました。こども医療センターでのボランティア研修にも参加してボランティアの心構えを学びながら、オープン後は夫婦でそれぞれ週に１～２回のペースで「リラのいえ」での当番業務を主体に活動させていただいております。

去る６月６日（土）に、こども医療センター体育館において「第９回ハートキッズセミナー」が開催され、スマイルオブキッズでもブースを出し参加家族へのＰＲに努めました。このセミナーではＡＥＤ、生体のり、縫合糸、人口心肺、心臓カテーテル、聴診器などの体験コーナーがあり、豚の心臓を用いた模擬心臓手術もあって、子ども達はもちろんご家族も一緒になって感嘆の声を発しておりました。

各コーナーを体験すると答えが解る方式のクイズ用紙が準備されていて、第一の質問が「ファミリーハウス・リラのいえ」について写真を見て選ぶ問題が入っており、大勢の子どもたちがブースに立ち寄り、写真を見比べて回答欄にスタンプを押しておりました。「滞在施設は？」と言う難しい漢字での質問だったので、子どもの目線で話をしながらどんな所か説明をしたつもりですが、何人か実際に利用したことのあるご家族も立ち寄ってくれて会話が弾みました。

人は誰でも自分の居場所があって、世のため人のために役立っていることを実感したときに喜びを覚えるものかもしれません。私自身、「リラのいえ」で留守番をしたり、お泊りのご家族のお手伝いをしたりすることを通じて、より充実した時間を過ごすことができております。何より、夫婦で共通の話題が増えたことへの有難さも痛感しているこの頃です。

山浦さん（右）と、参加されたご家族（左）

「リラのいえ」運営にご支援ありがとうございました

（2009 年 1 月 1 日～ 5 月 31 日）

■個人年会員・法人会員・受付　（敬称略）

猪俣恭子 / 山浦襄司 / 高橋房子 / 門田彰三 / 小林整治 / 伊澤リヨ / 鈴木ユリ子 / 村本則子 / 宋美智恵 / 平尾和子 / 阿部公子 / 安嶋裕美 / 芹沢玲子 / 伊藤是孝 / 志澤直樹 / 諏訪かほる / 木下和子 / 大久保照子 / 高橋惠子 / 蛇石成子 / 下島和子 / 田中ツネ子 /（株）ブライトワン / 天野由紀江 / 高林良宗 / 岩松祥江 / 大井美嬉子 / 木村貞子 / 細井椙子 / 竹内昭子 / 本橋製作所 / 波多野とよ子 / 大久保久仁子 / 吉田眞弓 / 水戸陽子 / 川上賢治 / 水島朝子 / 宮沢紘子 / 横山新一郎 / フカワ矯正歯科 / 立石諒子 / 平野和之 / 木崎光子 / 滝沢たか子 / 松井秀孝 / 安嶋裕美 / 安藤弘子 / 碓井裕子 / 高木安希 / 上野皓子 / 横浜和夫 / 安西久子 / 竹田こどもクリニック / 山下鈴代 / 開上光代 / 渡邊良晴 / 森田知子 / 羽田貞子 / 田川正志 / 大木宏之 / 倉田明香 / ゾンタクラブ / 手塚照子 / 野村則子 / 原公泰 / 塚田勝久 / 澤島政行 / 山本弘子 / 樋口智子 / 中山宏 / 白谷弥生子 / 岡村早知子 / 鈴木　幸夫 / 小沼あやの / 石関トヨ / 榎本みさを / 成田則子 / 片山純子 / 鈴木好子 / 青木茂 / 斉藤春江 / 佐藤英一郎 / 中村康子 / 土居久子 / 後藤るり / 後藤義尚 / 芦澤悦子 / 大嶋博之 / 米田淑子 / 嶋田哲也 / 嶋田希満子 / 豊田ﾌﾞﾝｸｰ / 林三恵子 / 丹野代吉 / 長谷川良子 / 遠藤信行 / さいとう小児科 / 高橋玉恵 / 辺見茂子 / 寺澤智恵子 / 星野利勝 / 岩崎真一郎 / 桐生秀昭 / 金子サキ / 北村敏代 / 尾田千浪 / 丸茂弘子 / 池田龍子 / 南部洋子 / 藤本淳 / 江隈一枝 / 倉田緑 / 和田明彦 / 花井悦子 / 木戸よし江 / 福島俊子 / 叉賀道子 / 安保さよ子 / 門田彰三 / 鈴木須満子 / 石丸彰 / 鍋島洵子 / 相馬かよ / 小澤みゆき / 稲田深智子 / 椎谷俊朗 / 石田美千子 / 松坂武子 / 小牧誉弘 / 石垣成子 / 吉村みち子 / 中澤裕一 / 村上次代 / 大谷近一郎 / 平野まり子 / 島田啓子 / 豊田芳子 / 川上美子湖 / 亀島桂子 / 内藤美紗子 / 若杉章子 / 藤田小児科 / 荒川とし江 / 工藤三津子 / 名和幸子 / 小林博司 / 時田初代 / 知久田恵 / 森山喜代子 / 関谷早苗 / 井上秀枝 / 市川利子 / 川北誠 / 上村幸司 / 吉田文雄 / 乙川篤子 / 多田浩二 / 小沢武 / 佐藤綾子 / 大倉勇 / 佐藤直子 / 新田恭子 / 山本修二 / 小林整治 / 燧淳子 / 今村恭子 / 増田志保 / 石井康博 / 藤井惇子 / 柴田昌子 / 菅頭妙子 / 三島尚子 / 鈴木聚倖 / 松村順子 / 鈴木昭 / 川村博 / 奥田美也子 / 山室陽子 / 大川須美他 5 名 / 上野葉子 / 田中朝美 / 本田八重子 / 三輪澄子 / 志村文江 / 黒田靖 / 木下和子 / 佐藤雅美 / 古賀朋子 / 平野まり子 / 三輪澄子 / 三宅礼子 / 鶴田清子 / 三石佳子 / 青柳充彦 / 上田絹子 / 高橋宏之 / 西井弘 / 吉田敏子 / 庄司美枝 / 大竹裕也 / 望月道子 / 芹沢玲子 / 吉田久美子 / 安田秀二 / 吉森道枝 / 佐藤庄一朗 / 白谷弥生子 / 仲宗根対子 / 石森真基子 / 泉水恭子 / 荻原順子 / 天海百合子 / 後藤彰子 / 安嶋裕美 / ファミリーテニスクラブ / 田代信行 / 田島香代子 / 小清水朋子 / 大

串孝子 / 小松眞子 / 斎藤真紀 / 中村忠雄・洋子 / 澤田久男 / 田辺絹枝 / トミーズ・カフェ / 野口勝宏 / 稲月須美子 / 岡和子 / 白幡広記 / 六ッ川中第二自治会 / スマイルこどもクリニック / 関英一郎 / 宋美智恵 / 井上智昭 / 坂田みさお / 本多ほなみ / 柳沢光枝 / 荒内史子 / 小林整治 / 久保田淳子 / 永峰真紀子 / 下川原淑子 / 関和子 / 中島八重子 / 長原和子 / 岡田章 / 萱畑佳代子 / 萱畑裕子 / 袖山忠一 / 袖山惠子 / 夏東開 / 伊藤惠子 / 野口康英 / 米山實 / 佐藤蘭 / 松坂千恵 / 茗荷美知子 / 千葉卓朗 / 森林課有志芹沢玲子 / 兼子玲子 / 有田佐智 / 阿比留聰子 / 鈴木博子 / 佐伯努 / 小林由紀子 / 安嶋裕美 / 久保佳子 / 大黒千代 / 神谷修 / 木下和子 / 沼沢静江 / 原公泰 / 横山新一郎 / 諏訪かほる / 酒井伴美 / 下島和子 / 齋藤真紀 / 永田ちゑ / 大木宏之 / 斉藤雅美 / 鈴木幸夫 / 小林良平 / 川上賢治 / 田島香代子 / 片岡陽子 / 椎谷俊朗 / 桐生秀昭 / 高木安希 / 羽田貞子 / 大竹裕也 / 渋谷佐和子 / 塩見あき子 / 稲田深智子 / 野村則子 / 三浦則子 / 小澤みゆき / 川村征雄 / 濱田久美子 / 鈴木寿満子 / 府川俊彦 / 小瀬村芳明 / 矢崎守孝・幸子 / 田川正志 / 稲本かおる / 金城重盛 / 坂部由紀子 / 磯ケ谷政久 / 塚田勝久 / 篠崎友世 / 飯端文子 / 植田展子 / 小林整治 / 瀧口秀之 / 白川光政 / 岩崎幸代 / 森山喜代子 / 和田昭彦 / 中山美喜穂 / 松井佑子 / 須佐井信子 / 伊藤是孝 / 安嶋裕美 / 中村由美子 / 吉森一子 / 上野皎子 / 田上眞澄 / 今村恭子 / 森田知子 / 真道典子 / 三輪澄子 / （有）トクダ補装具 / 田川いつ子 / 石賀忠勝 / 麻生俊英 / 吉田賢一 / 佐伯隆夫 / 小関咲子 / 田邊中 / 近藤トシ子 / 鈴木ひろ子 / 平林桂 / 遠藤信行 / 都田和朗 / 有田佐智 / 相磯しげ子 / 石井美佐子 / 佐伯由美子 / 草場晴美 / 芹沢玲子 / 辺見茂子 / 宋美智恵 / 武川幸子 / 沼田利夫 / 高市方子 / 山田美智子 / 篠原和子 / 荻原順子 / 松村三千代 / ノーベルファーマ（株）/ 鴨井義尚 / 村上次代 / 大久保八重子 / 大久保望 / 中西英樹 / 宮野敦子 / 袴田碧 / 鈴木将彦 / 平野まり子 / 本田真理子 / 森清治 / 伊澤リヨ / 大﨑昭平 / 河野芳江 / 成田則子 / 小西昌樹 / 小川福代 / 岩崎純士 / 小林整治 / 福地朝子 / 三杉信子 / 角洋子 / 小峰栄光学園 / 川崎リウマチ・内科クリニック / 平野たつ子 / 花田いち子 / 藤田和夫 / 菱沼良夫 / 黒澤宗剛 / 安嶋裕美 / 渡辺好徳 / 相馬かよ子 / 芹沢玲子 / 南の島のサンタクロース / 細谷和一郎 / 木下和子 / 大竹裕也 / 石丸彰

■物品

金子みち代 / 河合 / 中山 / 竹中裕貴 / 上原佳澄 / 石関トヨ / 大河原さき / 小林良平 / 草場春美 / ロータリークラブ / 岡田史郎 / 千葉夕佳 / 岡田加津子 / 笹森 / 草場春美 / 館弘子 / 草場春美 / 浅川冨美子 / 中村 / 黒沼 / 沼澤静江 / 沼澤静江 / 鈴木美登里 / 上原佳澄 / 千葉夕佳 / 草場春美 / 石井美佐子 / 小松眞子 / 三宅礼子 / 辺見茂子 / ソフィルテック / 福地朝子 / 草場春美 / 江口淑子 / 草場春美 / 河合克枝 / 高石直美 /

神奈川県立こども医療センター患者・家族滞在施設

「リラのいえ」開設までの歩み

2004年	7月	松沢知事、県議会でこども医療センター患者・家族滞在施設建設に前向きな答弁
	8月	神奈川県立こども医療センター患者・家族滞在施設開設準備委員会設立
	12月	開設準備委員会は、大木神奈川県副知事に面談し、「患者・家族滞在施設開設についての要望書」を知事宛てに提出
2005年	6月	開設準備委員会主催「関孝弘チャリティーピアノコンサート」を開催し募金活動を始める
	10月	スマイルオブキッズが「横浜市市民活動推進基金 夢ファンド」の助成対象団体として登録される
	11月	スマイルオブキッズ改組、こども医療センター患者家族滞在施設の事業主体となる
2006年	6月	開設準備委員会主催「第2回チャリティーピアノコンサート」開催
	10月	篤志家から多額の寄付金をいただき、建設のめどが立つ
	11月	県知事、県有地を無償提供することを正式記者発表
	12月	平成19年度神奈川ボランタリー21基金協働事業助成団体に認証される
2007年	1月	㈱UWA設計（東京都千代田区）と設計監理料4,200,000円で契約
	6月	開設準備委員会主催「第3回チャリティーピアノコンサート」開催
	8月	㈱神工舎建築工房（神奈川県南足柄市）と建設一式85,000,000円で契約
	9月	起工式
	12月	上棟式 平成20年度神奈川ボランタリー21基金協働事業助成団体に認証される
2008年	4月	スマイルオブキッズ主催「第4回チャリティーピアノコンサート」開催 滞在施設「リラのいえ」完成
	5月25日	施設開設式・記念式典開催
	6月～	開業。皆様の多大なるご支援により、現在にいたる

お知らせ

●「地域がささえるふれあいコンサート　2009」開催

8 月 22 日（土）午後 2 時から、横浜ラポールシアターで「地域がささえるふれあいコンサート 2009 〜障がいのある子どもと家族の集い〜」を開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

■主催：特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ
■共催：横浜重心グループ連絡会 〜ぱさネット〜
■日時：平成 21 年 8 月 22 日　午後 2 時（開場）　午後 2 時 30 分（開演）
■場所：横浜ラポールシアター
■料金：無料　※申込者多数の場合は、車椅子の方を優先。

●「リラのいえ開設 1 周年記念チャリティーピアノコンサート」CD 発売

2009 年 6 月 13 日、ミューザ川崎で開催された「リラのいえ開設 1 周年記念チャリティーピアノコンサート」の CD が発売されます。ご購入を希望される方は、下記 E メールまでお問い合わせください。

■問い合わせ先：lilanoie@lilac.plala.or.jp

リラのいえ

〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2
電話・FAX：045-824-6014
e-mail：lilanoie@lilac.plala.or.jp

会報発行者
特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp